

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成 22 年 4 月

(平成 22 年 3 月末調査)

平成 22 年 4 月 26 日

長野県岡谷市郷田二丁目 1 番 8 号

諏 訪 信 用 金 庫
経 営 相 談 室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【2月】	諏訪公共職業安定所管内	0.48倍	0.11ポイント
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,907枚	1,691枚
	金 額	11,866百万円	3,346百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	+23枚
	金 額	14,634千円	+6,486千円
電力使用量【3月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	63,409 MWh	2.3%
	高压電力計	101,300 MWh	+10.4%
	合 計	164,709 MWh	+5.1%
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪地方合計)		1,709件	+8.8%
新設住宅着工戸数【21年4月～22年2月】(諏訪管内)		1,055戸	22.4%

本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

製造業

工作機械・専用機は、アジアなどの海外需要が回復しており生産は持ち直しつつあるも価格競争の激化がきかれる。自動車部品関係の下請企業は、エコカーの販売が好調で受注は安定的に増加しているが、コストダウン要請がきかれる。金型関係では期末の調整で一部落ち込んだ企業もみられるが、受注状況は基調としては増加傾向である。デジタルカメラ関連企業の受注は、親会社により増減が区々となっている。

地域製造業の受注状況は、企業により区々であるが総体では一昨年のピーク時の8割程度まで回復しており、なかにはピーク時を越す受注があるとする企業もみられる。

ただし、受注の回復が中国をはじめとする新興国需要によることから、コストダウン要請が激しく受注量は増加するも収益の改善が遅れていることや、生産の更なる海外シフトを危惧する声がかかれる。

商業

諏訪地方の3月の天候は、気温は平年より高かったものの降水量が1945年の統計開始以来1位となるなど、ぐずついた日が多かった。家電製品では4月のエコポイント制度厳格化を前に旧モデルの薄型TVの販売に駆け込み需要がみられ、自動車販売では3月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,709台で前年同月比+138台(+8.8%)増と5ヶ月連続で前年を上回った。一方、衣料品では不順な天候の影響もあり春物衣料の動きは弱く、新入学関連衣料では子供服は平年並みの動きであるも父兄向けのスーツ等では買い控えや低価格志向がきかれるなど、基調として消費マインドは引き続き弱含みのまま推移している。

観光業

御柱祭を目前に控えた3月は首都圏等からのツアーの設定本数が減少したこともあり、諏訪地域の観光施設や宿泊施設の入り込み客数は前年を下回ったところが多い。

また、ホテル旅館の売上状況は、価格競争による宿泊単価の下落や人事異動に伴う歓送迎会等が客単価の低い居酒屋などに移っている影響がきかれ、引き続き弱含みで推移している。

ただし、御柱祭期間中や高遠城址公園の桜を絡めた宿泊企画は順調に予約を伸ばしている。

建設業

市町村の3月の発注工事は、建築工事10件183百万円、土木工事・下水道工事39件212百万円、その他工事28件243百万円の合計77件640百万円と、前年同月比では+20件、+227百万円の増加となった。県関係の3月の公共工事（地元業者受注分）は31件1,726百万円、また平成21年度の累計契約は228件6,518百万円と前年比で件数は7件の減少、契約金額は+3百万円の増加と豪雨災害の砂防工事関係の発注などから前年並みを維持した。ただし、事業仕分けの影響等から平成22年度工事は減少する見通しである。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は52戸で前年同月比18戸（25.7%）の減少となった。また、平成21年4月～平成22年2月の累計着工戸数は1,055戸と前年同期累計比では304戸（22.4%）の減少となっている。御柱祭の直前となり、リフォーム等の工事の動きは弱くなっている。

雇用

諏訪地域の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント下回り0.48倍と対前年比で29ヶ月連続して低下しているものの、13ヶ月振りに全国平均を上回った。なお、全国と同倍率は0.47倍、長野県と同倍率は0.49倍となっている。

また、諏訪地域の2月の新規求人（全数）は1,084人で前年同月比+227人（+26.5%）の増加、新規求職者数は1,114人で前年同月比317人（22.2%）の減少となっている。産業別の新規求人数では、金属製品や電子部品を中心に製造業で大幅に増加したものの、サービス業は前年に比べ半減した。

なお、1件10人以上の人員整理は3件40名、事業主都合による雇用保険資格喪失者は80人と前年同月より469人減少、前月より24人減少となった。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	前年同月に比べ受注は大幅に増加しており、省エネ家電向け等で引き続き受注増加が見込まれている。
コンデンサー	受注は増加傾向である。
プリンター	中国や東アジア向け機種で受注の増加がみられる。
コンタクター・リレー	受注は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	エコカーの販売が好調で受注は安定的に増加しているが、コストダウン要請により収益の改善が遅れているとの声もきかれる。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、大幅に落ち込んでいた前年同月に比べると回復しているものの、先行きには慎重な見方がきかれる。
船外機	新興国向けの低価格機種の生産は回復しているが、上位機種の動きは引き続き弱含んでいる。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジアなどの海外需要が回復しており、生産は持ち直しつつあるが価格競争の激化がきかれる。
搬送用機械	汎用機の動きは比較的堅調であるが、大型設備は引き続き弱含みで推移している。
金型	期末の調整で一部落ち込んだ企業もみられるが、受注状況は基調としては増加傾向である。
ダイカスト	受注は企業により区々であるが、ガス器具等は安定している。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの2月の生産台数は727万台で、前月比+11.1%増加、前年同月比+42.5%増加となっている。2月の出荷台数は国内出荷95万台、海外出荷625万台で、出荷台数全体では前月比+14.5%増加、前年同月比+35.0%増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 地域企業の受注状況は、親会社により増減が区々となっている。
プロジェクター レンズ	メーカーの売れ行きは、米国の教育機関向けが好調である。 足元の受注が増加している企業がみられる。

5. 織 維

ニット

暖冬の影響から小売店頭での冬物の動きは弱かった。春物・初夏物の受注も弱含みで推移している。

6. 食 品

寒天

荷動きは安定している。3月末のテレビ放映や御柱祭に向けての寒天料理の紹介が好評で売上の増加が見込まれている。

味噌

出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の2月の木造住宅着工件数は49戸で、前年同月に比べ7戸の減少となった。

8. 建 設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所26件、農地整備課2件、その他土木工事3件の合計31件、契約金額1,726百万円となっている。また、県関係の3月の公共工事（地元業者受注分）は31件1,726百万円、また平成21年度の累計契約は228件6,518百万円と前年比で件数は7件の減少、契約金額は+3百万円の増加と豪雨災害の砂防工事関係の発注などから前年並みを維持した。ただし、事業仕分けの影響等から平成22年度工事は減少する見通しである。

市町村の3月の発注工事は、建築工事10件183百万円、土木工事・下水道工事39件212百万円、その他工事28件243百万円の合計77件640百万円と、前年同月比では+20件、+227百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は52戸で前年同月比では18戸（25.7%）の減少となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」が6戸減少の29戸、「貸家」が12戸減少の20戸、「分譲」が前年同数の3戸となっている。

また、長野県全体の2月の新設住宅着工戸数は643戸で、前年同月比4.7%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が343戸で+0.9%増加、「貸家」が204戸で23.9%減少、「分譲」が80戸で+21.2%増加となっている。

御柱祭の直前となり、リフォーム等の工事の動きは弱くなっている。

9. 商業

諏訪地方の3月の天候は、気温は平年より高かったものの降水量が1945年の統計開始以来1位となるなど、ぐずついた日が多かった。家電製品では4月のエコポイント制度厳格化を前に旧モデルの薄型テレビの販売に駆け込み需要がみられ、自動車販売では3月の諏訪地方の車庫証明件数(軽自動車除く)は前年同月比+8.8%増と5ヶ月連続で前年を上回った。

衣料	子供用の新入学関連衣料は平年並みの動きであるも、父兄向けのスーツ等では買い控えや低価格志向がきかれる。
食料品	御柱関係のオードブルは1皿2~3千円を中心に順調に予約が伸びている。また、一般の食材の動きもお彼岸頃から好調で、売上が前年を上回ったとする店舗も多い。
家電製品	薄型テレビは4月からのエコポイント制度厳格化を前に、割引率の高いポイント対象外となる旧モデルの売れ行きが好調であった。
自動車	諏訪地方の3月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,709台で前年同月比+138台(+8.8%)増と5ヶ月連続で前年を上回った。ただし、平成21年度の合計は、春先の大幅な前年割れが響き12,058台と前年を1.9%下回った。
ホームセンター	不安定な天候から園芸用品の動きは前年を下回った。岡谷市内では、4月から始める「家庭ごみ等有料化」を前に分別用のゴミ箱の売れ行きが伸びた。

10. 観光

御柱祭を目前に控えた3月は首都圏等からのツアーの設定本数が減少したこともあり、諏訪地域の観光施設や宿泊施設の入り込み客数は前年を下回ったところが多い。

また、ホテル旅館の売上状況は、価格競争による宿泊単価の下落や人事異動に伴う歓送迎会等が客単価の低い居酒屋などに移っている影響がきかれ、引き続き弱含みで推移している。

ただし、御柱祭期間中や高遠城址公園の桜を絡めた宿泊企画は順調に予約を伸ばしている。

上諏訪温泉	総体の宿泊客数は前年を幾分上回ったものの、ホテル旅館により増減は区々となっている。御柱祭の期間中の予約は好調であるが、平日の集客が弱含んでいる。
蓼科・白樺湖・車山	雨の多いぐずついた天候等から入り込み客は前年を下回った。前年並みの宿泊客数を維持しているホテル旅館でも、宿泊単価の低下から売上高は弱含んでいる。
下諏訪温泉	宿泊客数及び宴会客数ともに前年を大幅に下回った旅館が多い。
諏訪大社	上社・下社合わせた3月の参拝者数は約41千人で、前年同月比約10千人の増加となった。御柱祭を目前に控え、観光客及び地元の氏子とともに参拝者数は増加している。